

- ・「下山発掘だより」第5号(11月)(27hakkutudayori5201511 [PDFファイル/217.40 KB])
「下山発掘だより」第5号(11月)

10月6日更新 「下山発掘だより」第4号(9・10月合併)を掲載しました。

調査研究課の成瀬です。

「下山発掘だより」第4号(9月・10月)を掲載しました。

8月の管ノ口A遺跡での発掘調査は、調査区西側の1面目補足調査及び調査区東側の2面目調査を行いました。西側での1面目補足調査では鉄滓(注1)や磁石が出土し、この場所で鉄製品の製造・修理が行われていた可能性が考えられます。

東側での2面目調査では、数は多くないものの縄文土器や石器が出土しました。また、中央部の流路を断ち割ったところ、下層から古代の土師器(注2)や灰釉陶器(注3)を確認することができました。

5月下旬に着手した管ノ口A遺跡の発掘調査でしたが、8月末に現場作業を終えることができました。調査開始当初は、天候にも恵まれ順調に作業を進めることができましたが、7月以降は降雨・猛暑など厳しい条件下での作業が続きました。また、調査区中央の谷部でのぬかるみや湧水に苦労することも多々ありました。

現場作業終了後の9月からは、測量図面や記録写真・遺物データの整理を順次進めています。

- *注1 鉄滓(てっさい): 製鉄の際に生じるかすのこと。
- *注2 土師器(はじき): 古代(古墳時代から平安時代ころ)に用いられた素焼きの土器。赤褐色で文様はない。
- *注3 灰釉陶器(かいゆうとうき): 植物を燃やした灰などを溶かした釉薬(ゆうやく)を施した古代の陶器。

下山発掘だより

第4号 2015.9・10合併号
愛知県発掘文化財調査センター

秋らしいさわやかな気配が広がり、朝日に焼く心地を感じる季節となりました。

※調査進捗
発掘調査は、5月まですべての作業が終了し、残存した出土した遺物や調査した調査の整理などが行われています。

5月末の一筆目の作業終了後、調査区西側では一筆目の調査の補足作業が行われ、古代の遺物が数多く出土する層や中層の調査などが行われました。伊勢からは赤い土器などに出る磁石(てっさい)や、磁石(はじき)に使ったと考えられる磁石が出土しました。



古代の伊勢 伊勢から出土した鉄滓 古代の縄文(古いのは遺物を入れた跡)

調査区東側では、古代の遺物などが出土する層から掘り下げての2面目の調査が行われました。遺物としては、大型の土器や土を焼いた土器などが確認されました。遺物としてはあまり多くはないですが縄文土器や土師器が出土しました。



二筆目を発掘調査写真 縄文土器

今シーズンの管ノ口A遺跡の調査では、古代の伊勢を営む新製成の鉄滓・磁石などから出土した遺物や磁石が確認され、土師器などがこの場所で鉄製品の製造や修理などの作業をやっていた可能性が考えられます。

※お知らせ
10月24日(土)下山発掘だより(第4号)にあわせて、今年度の成果報告会を行います。詳しくはこちら



10月24日(土)開催
場所 豊田市下山交流館

1. 収束報告会 11:00-12:30 3階(収束報告会)
入場: 無料(入場券の請求書は、調査区東側の受付から)

2. 展示 13:00-15:00 2階(展示コーナー)
5月以降の調査で出土した遺物の展示(13:00-15:00)

3. 展示 15:00-16:00 2階(展示コーナー)
展示の遺物が13:00-15:00に展示される場合があります

※当日は下山交流館の受付で入場券を配布します。
※お車でお越しの場合は、駐車場は下山交流館(土)に隣接する地下駐車場で、入場券を配布します。1Fは完成までの材料置き場です。
お情報は愛知県発掘文化財調査センターのホームページでも公開しています。
愛知県発掘文化財調査センターのホームページ
<http://www.pref.aichi.jp/000002060.html>
今後はこちらでお知らせします。次号をお楽しみに!

【「下山発掘だより」第4号(9・10月合併)】

「下山発掘だより」第4号(9・10月合併)

- ・「下山発掘だより」第4号(9・10月合併)(27hakkutudayori420150910-2 [PDFファイル/579.89 KB])
「下山発掘だより」第4号(9・10月合併)

8月20日更新 「下山発掘だより」第3号(8月)を掲載しました。

調査研究課の成瀬です。

「下山発掘だより」第3号(8月)を掲載しました。

7月は雨に降られる日が多く、1面目の上空からの写真撮影も当初の日程からずれ込み、7月末にようやく行うことができました。

8月に入ると天候は一転、晴天続きとなりましたが、連日の猛暑の中、熱中症等を心配しながらの作業となりました。

現在、管ノ口A遺跡では調査区東側での2面目調査と調査区西側での1面目補足調査を行っています。

調査区東側の2面目調査では、縄文土器、黒曜石(注1)の石鍬、凝灰岩(注2)のスクレイパー(注3)などの遺物や大型の土坑などの遺構を確認しています。

- *注1 黒曜石(こくようせき): 火山岩の一つ。ガラス質で断面の縁が鋭いので、石器の材料として用いられる。
- *注2 凝灰岩(ぎょうかいがん): 火山灰が固結してできた岩石。
- *注3 スクレイパー: 掻器(そうき)、削器(さつき)とも呼ばれ、獲物の皮の裏側の脂肪分を削り取ったりするのに用いられた。



【菅ノ口A遺跡 上空写真】

下山発掘だより 第3号 2015.8

7月は、前半は雨にたたられ、後半は急な暑気で熱中症の心配をしながらの作業となりました。

※調査速報

発掘調査は、平安時代や鎌倉時代の遺構・遺物が確認できる一面目のラジコンヘリでの上空からの写真撮影を7月末に終了しました。現在は縄文時代から弥生時代にかけての遺構・遺物があると考える調査区東側を掘り下げ二面目の調査に入っています。



調査区遺構（南から）

二面目の調査では、縄文土器の他、黒曜石の石鏃や砥石のスクレイパーなどの石器が出土しています。遺構としては、大型の土坑などが多数確認されており、今後の調査でより多くの遺物が出てくればと期待しています。



黒曜石の石鏃



黒曜石のスクレイパー

※整理速報

現在遺物の仕分け、接合作業をひたすら続けています。作業は順調に進んでおり、今後も出土した遺物を続けていきます。

遺跡から出土する遺物は、人々の生活を読み取る上で重要な情報をもたらしてくれます。遺物は遺構から完形の状態で出土するものだけでなく、多くは長い期間の状態で土に埋まっています。出土した破片は土質（土器・陶器・石器など）や形（釜・鍋・甕など）が共通するものにもとめ、接合していきます。こうして接合された遺物を観察すると、器や大きさなどの特色から、作られた時期を判断していきます。また破片の断面からは、製作技法もわかることもあります。

接合作業と遺構の修復をあわせて検討することにより、遺跡がどのように形成されたか、当時の人々がどのような生活を営んでいたか、

現在遺物の仕分け、接合を進めながら、様子の良い土器や石器、特徴的な遺物の選り出し作業を行っています。選り出した土器・石器については、今後実測図を描いたり、写真撮影を行っています。



接合作業の様子



接合後の縄文土器

※情報は愛知県埋蔵文化財調査センターのホームページでも公開しています。

愛知県埋蔵文化財調査センターのホームページ

<http://www.pref.aichi.jp/0000022060.html>

今後ともこうしてお知らせします。次号をお楽しみに！

【「下山発掘だより」第3号(8月)】

「下山発掘だより」第3号(8月)

・「下山発掘だより」第3号(8月) (27hakkutodayori3201508 [PDFファイル/430.76 KBI])

「下山発掘だより」第3号(8月)

7月16日更新 「下山発掘だより」第2号(7月)を掲載しました。

調査研究課の成瀬です。

「下山発掘だより」第2号(7月)を掲載しました。

梅雨空の下、天気予報とにらめっこしながら菅ノ口(すげのくち)A遺跡の調査を進めています。現在は、主に平安時代から鎌倉時代の遺構・遺物が含まれる層の調査を行っています。

菅ノ口A遺跡の中央、北北東から南にかけては川の跡がみられ、その両岸からは平安時代の灰釉陶器や中世の山茶碗などが出土しました。

また、調査区西半部では縄文時代のもと思われる石鏃(※注1)やたたき石(※注2)なども出土しています。

7月中旬には一面目の調査を終え、その後はさらに下の層の調査を行っていく予定です。

※注1 石鏃(せきぞく):石製の鏃(やじり)。縄文時代には主として狩猟に用いられました。菅ノ口A遺跡で出土した石鏃はチャートといわれる石材で作られています。

※注2 たたき石:ものをたたいたり、すりつぶすのに用いた石器。「下山発掘だより」第2号紙面の写真のたたき石は、花崗岩で作られています。

・「下山発掘だより」第1号(6月) (27hakkutudayori1201506 [PDFファイル/606.31 KBI])

「下山発掘だより」第1号(6月)

4月20日更新 豊田・岡崎地区研究開発施設用地内遺跡の調査について

調査研究課の成瀬です。

今年度も豊田・岡崎地区研究開発施設用地内遺跡の発掘調査が5月半ばから始まります。昨年度までの3年間で調査の山場は過ぎたため、今年度は上半期に菅ノ口A遺跡(豊田市下山代町)の調査を行うのみとなります。

一方今年度より、これまで調査してきた各遺跡の報告書作成に向けての整理作業が開始されました。出土した遺物などを検討することで発掘調査中には気づかなかったことがわかるかも知れません。

今後、このページを使って遺跡の発掘状況などを紹介していきます。



【菅ノ口A遺跡位置図】

関連コンテンツ

・ 愛知県埋蔵文化財調査センター

- ・ [総務課](#)
- ・ [事業の内容](#)
- ・ [利用の案内](#)
- ・ [アクセスマップ](#)
- ・ [アーカイブ](#)
- ・ [平成27年度 発掘調査報告](#)
- ・ [平成27年度 お知らせ](#)
- ・ [平成27年度 活動報告](#)
- ・ [平成27年度 整理作業報告](#)

問合せ

愛知県 埋蔵文化財調査センター

電話: 0567-67-4164

E-mail: maizobunkazai@pref.aichi.lg.jp